



Newsletter

- 発行：日本農業市場学会事務局
〒036-8561 弘前市文京町3
弘前大学農学生命科学部
国際食品マーケティング学分野 気付
TEL/FAX：0172-39-3622 (研究室直通)
E-mail：tnarita@hirosaki-u.ac.jp

日本農業市場学会

日本農業市場学会 2020年度大会 案内

1. 大会シンポジウム

大会シンポジウムは、新型コロナウイルス感染症の今後の推移を見据えながら、2021年3月末を最終期限とし、オンラインやビデオ録画・配信などの非集合方式をも選択肢に含め、開催に向けた検討と準備を進めます。

開催方法などの見通しが立ち次第、速やかにEメール、ホームページ等でお知らせします。

●大会シンポジウム

テーマ：物流危機と農産物・食品流通の転換

座長：木立真直（中央大学） 杉村泰彦（琉球大学）

1) 座長解題

2) 報告

第1報告 矢野裕児氏（流通経済大学）

「日本における物流危機の現状と食品物流をめぐる諸課題」

第2報告 佐藤和憲氏（東京農業大学）

「産地における農産物の加工・保管・出荷対応の現状と課題」（仮）

第3報告 種市豊氏（山口大学）

「過疎地・農山村における農産物・食品の配送対応の現状」（仮）

第4報告 丸谷智保氏（榊セコマ会長、最終調整中）

「北海道における食ビジネスと物流戦略」（仮）

3) コメント

①小林茂典氏（石川県立大学）

②冬木勝仁氏（東北大学）

4) 総合討論

5) 座長総括

●大会実行委員会

実行委員長：坂爪浩史（北海道大学大学院農学研究院）

2. 個別報告

今回の個別報告は座長兼コメンテーター（一名）と報告者間のみでのEメールによる下記の方法で実施します。また、この個別報告のために作成された報告用PDFの転載・引用を一切禁止しますのでご留意下さい。報告用PDFを入手した企画委員会事務局と座長兼コメンテーターが、会員の有無を問わず、他者に報告用PDFを提供することはできません。例年と異なりますが、宜しくお願い致します。

●個別報告の実施方法

- 1) 報告者より座長兼コメンテーターへ報告時間20分を想定して作成した報告用PDFを7月3日までに送付する（進行管理役として、CCに企画委員会事務局アドレス（yutaka@agri.kagoshima-u.ac.jp）を入れる）。
※6月29～30日に企画委員会事務局より報告者へ報告用PDF送付先となる座長兼コメンテーターのメールアドレスをEメールでお知らせします。
↓
- 2) 座長兼コメンテーターは質問・コメントを返信する（CCに企画委員会事務局アドレス（同上）を入れる）。
↓
- 3) 報告者は回答の返信をする（CCに企画委員会事務局アドレス（同上）を入れる）。
↓
- 4) 座長兼コメンテーターは回答を確認し、編集委員会事務局からの個別報告要旨の学会誌掲載や個別報告投稿についての連絡文書を添付して送付する。個別報告投稿に向けて最終コメントもあれば加える（CCに企画委員会事務局アドレス（同上）を入れる）。
↓
- 5) 上記を7月5日までに完了する。

・座長兼コメンテーターの記載された個別報告リスト及び個別報告要旨集（5月29日までに企画委員会事務局へ提出された個別報告要旨のみ掲載）を6月中旬に学会ホームページで公開します。

3. 総会、理事選挙、新理事会

総会及び理事選挙は、2020年7月中に書面・郵便投票により実施します。詳細は、Eメール、ホームページ等で追ってお知らせします。

新理事会は、2020年7月下旬にオンラインで開催することとします。詳細は、対象の会員に直接お知らせします。